

ニ ュ ー ス 済 生

THE NEWS
SAISEI



発行所
社会福祉法人 済生会
東京都港区三田1-4-28 三田国際ビルディング21F
電話 03-3454-3311
FAX 03-3454-5576
編集兼発行人 炭谷 茂

https://www.saiseikai.or.jp/

高松宮記念基金にご協力ください

令和2年1月～7月分実績

◎本会会員加入状況	38,747人	84.3%
	43,796口	8,760万円
◎外部会員加入状況	4名	20千円
◎一時寄付状況	23件	174万円
	(内、自販機関係)	44万円)
◎募金箱		37万円

新型コロナ 公的三団体、経営支援要請

厚労・総務相と自民幹事長らにも

公的病院三団体（済生会、日本赤十字社、JA厚生連）は、新型コロナウイルス感染症患者の受け入れにより、病院経営が厳しい状況にあるとして、7月22日、厚生労働省を訪れ、加藤勝信大臣に第二次補正予算において予算措置された「新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金」の早急な執行を求めた。続いて総務省にも訪れて高市早苗大臣にも要請。27日には自民党本部を訪れ、二階俊博幹事長や岸田文雄政務調査会長らにも要望書を提出した。

三団体は要望書で、公的医療機関としての使命から積極的に新型コロナウイルス感染症の患者を受け入れるが、コロナ患者への診療体制を整備することでベッドの空床が生まれ、救急患者の受け入れ制限や一般診療の縮小、予定していた手術の延期など甚大な影響を受けている。5月は三団体平均で、入院患者が16%、外来患者は24%減少、医薬利益率がマイナス15%になるなど大幅に経営が悪化。コロナの患者を受け入れれば受け入れられるほど厳しい経営状況になっていると窮状を伝えた。また、コロナ患者を受け入れていない病院でもベッドの確保や新たな感染予防対策で経営が悪化しているとして、診療報酬の基本診療料の底上げによる地域医療の支援を要望した。

よく公立・公的病院としてくられるが、公立病院は経営が赤字になった。経営管理課

でも都道府県や市等の予算で措置され税金で補填される。しかし、同様に社会的使命が求められている三団体等の公的病院にはそれがなく、全て自前で賄わなくてはならない。このため、自治体が公的病院への支援を行なった場合は、地方交付税による支援など、公立病院と同等の措置をするよう求めた。（経営管理課）

第1四半期病院決算 マイナス11.5億円

令和2年度の第1四半期（4～6月）病院決算がまとまった。前年同期比で、患者数は入院が13%減、外来が17%減少。これにより、サービス活動収益が15.5億円減少したのに対し、人件費は9億円、医薬品費は5億円の減少にとどまった。この結果、本業の収支を表すサービス活動増減差額は4～6月の3カ月で11.5億円の赤字となった（前年は1億1500万円の黒字）。

黒字の病院数は昨年の37に対し今年は13に減少。一方で赤字の病院数は昨年の43から今年は67に増加した。

6月は改善の兆し
1日当たり患者数については、6月は5月に比べ改善。入院は5.4%、外来は2.6%増加した。病床利用率も5月は71%だったが、6月は75%と4ポイント改善した。しかし、昨年6月の病床利用率は85%で、依然として10ポイント悪化している。（経営管理課）

7月は済生会でもコロナ患者が急増
済生会病院における新型コロナウイルスの入院患者は、7月に入り急増。6月末は7病院で17人だったのに対し、7月17日には10病院で40人、7月末は19病院で88人が入院している。（事業推進課）

コロナ緊急内部融資 8病院に約30億円
新型コロナウイルス感染症に対する済生会施設への緊急内部貸付は、7月末で申し込みも含め8病院に対し約30億円に上っている。（事業推進課）

4議案を審議
施設運営委員会が7月21日、本部で開かれた。審議4件、協議1件、報告6件だった。

【審議】①経営指導施設（病院）の指定並びに経営指導委員の指名（案）②経営指導施設（老健・特養）の指定並びに経営指導委員の指名（案）③財政調整事業資金貸付（案）及び経営基盤強化

【報告】①令和元年度決算報告（病院、老健、特養）②病院経営状況（令和2年4月～5月）③老健・特養 経営状況および無料低額診療実績（令和2年4月～5月）④福島総合病院の経営改善進



加藤厚労大臣への要望書を鈴木俊彦事務次官（左から2人目）に提出



二階自民党幹事長（中央）にも提出

緊急貸付は、新型コロナウイルスへの対応で外来や入院受け入れを全面休止・縮小、または影響を受けた職員の自宅待機で診療機能が制限されるなどにより資金繰りが悪化し、銀

に誕生した。平成29年度横浜市の特別養護老人ホーム設置運営事業者に神奈川県済生会が選定され、50年の定期借地による国有地を利用し、横浜市では初となる従来型からユニット型施設への転換及

び移転増床（定員77人から120人）に取り組み、新特養の整備事業を進めてきた。

移転当日は、新型コロナウイルス感染症対策の中、施設職員と、支部と他施設職員の応援を得て一日で利用者全員を無事に新施設へ移送した。

若草ホームの40年を踏まえ、「わかくさ」は新しい時代の特養としてその歴史を築いていく。（済生記者 篠田祥香）

障害者就労A型新潟なでしこワークス
障害者就労継続支援A型事業所「済生会新潟なでしこワークス」が4月開設された。定員は10人で、身体・知的・発達・精神障害及び難病等対象者の方。当面、近接の新潟病院で、事務補助・清掃・敷地整備等の作業に当たる。施設側はサービス管理責任者（精神保健福祉士、社会福祉士）・生活相談員・職業指導員で構成。

新潟病院は地域貢献活動の一環として、高等特別支援学校生が院内の清掃や看護補助、簡易な事務等を行なう就業体験を



定員も大幅に増えた「わかくさ」

者の方。当面、近接の新潟病院で、事務補助・清掃・敷地整備等の作業に当たる。施設側はサービス管理責任者（精神保健福祉士、社会福祉士）・生活相談員・職業指導員で構成。

新潟病院は地域貢献活動の一環として、高等特別支援学校生が院内の清掃や看護補助、簡易な事務等を行なう就業体験を

職場実習を受け入れている。保護者や学校関係者から医療機関で一般就労に向けた支援を受けたいとの要望が寄せられ、新潟県支部としてこれに応えた。

A型事業所は、福祉的サポートがあれば就労が可能な人と雇用契約を締結し、職業訓練をする。利用者のニーズに応じた適切な支援のもとで個性を磨き、作業力、生活力等の確かな力と豊かな人間性を身につけた人を育成し、保護者・地域住民との相互信頼に基づく開かれた事業所を目指す。（新潟なでしこワークス 施設長 北村純夫）

（中央病院へ）
三重県済生会
諸岡芳人殿 100万円
（松阪総合病院へ）
奈良県済生会
今川敦史殿 50万円
（奈良病院へ）
今川敦史殿 200万円
（中和病院へ）
岡山県済生会
仁科 恭殿 40万円
（老健備中荘へ）

（宇都宮病院へ）
東京都済生会
港区三田一丁目町会殿 100万円
小寺政明殿 50万円
池内裕規殿 200万円
三原弘志殿 100万円
アビオン（株） 100万円

（福岡）大牟田病院名
菊池茂氏が逝去
大牟田病院名
院長 北村純夫

（福岡）大牟田病院名
院長 北村純夫

（福岡）大牟田病院名
院長 北村純夫

ソーシャルインクルージョン推進計画

令和2年度補助は6件

「済生会ソーシャルインクルージョン推進計画」の令和2年度補助事業対象に6件が決まった。同計画は、済生会が行なうべき基本的な方針である3本柱の事業と医療・福祉の周辺分野のサービスを総合的に組み合わせたもので、各支部・施設から1541の事業がリストアップされている。このうち推進計画に合致し、先駆的な視点から選ばれた活動を支援するのが補助事業で、昨年度は9件、2年目の今年度は6件が選定された。補助は、1活動当たり最長3年間に分けて最大、合計200万円（毎年度、



イオンモールでの健康イベント



EPAの外国人が国家試験に合格、介護福祉士に

活動実績と金額を申請）が支給される。

（総合戦略課）

川奈臨海学園で新事業 短期7日間子育て支援

「静岡」児童養護施設の川奈臨海学園は8月1日、家庭で親などが病気や事故、経済的な理由などにより養育が困難となった場合に、一時的に子どもを預かり養育する「子育て短期支援事業」を開始した。

この事業は、児童福祉法に基づき行なうもので、子どもの保護者が、実施主体である市町村に申し込み、乳児院や児童養護施設、里親などが受け入れる。済生会では宇都宮や大阪などの乳児院で実施している。

子育て短期支援事業には、原則7日以内の「ショートステイ」と平日の

夜間または休日を受け入れる「トワイライトステイ」の2種類があり、国によると平成29年度、ショートステイが797施設、トワイライトステイは398施設が実施している。

川奈臨海学園は令和3年3月の竣工を目指し全面改築中。子育て短期支援事業専用の居室も設ける計画で、新しい建物の完成を待って事業を実施する予定だったが、伊東市の要望を受け、既存の建物を利用して前倒しして受け入れ態勢を整備。定員は2人、平日は幼稚園や小学校への送迎を行ない、夜間は施設の入所児童と同様に食事して余暇時間を過ごす。伊東市との委託契約では、利用料金は生活保護世帯では全額を市が負担。市民税非課税世帯やその他の

世帯では、市が費用の一部を負担する。

国は「新しい社会的養育ビジョン」として、家庭的養育を目指す中で、川奈臨海学園は、里親支援専門相談員を配置、静岡県東部地区で、里親サロンや研修会を実施。今年3月には、地域小規模児童養護施設「わかな」を開設した。同学園の竹居昭子施設長は「児童養護施設が地域に開かれた施設になるように、今後



いきたい」と今後の抱負を述べた。

（川奈臨海学園 総務管理課 山田暢大）

人事

宮城県済生会

支部長 加藤秀郎 7・1

三重県済生会

支部長 諸岡芳人 7・1

福岡県済生会

支部長 藤森健而 6・30

大分県済生会

支部長 大森 徹 6・12

解嘱 金納文彦 6・8

解嘱 尾野賢治 7・15

解嘱 黒田秀郎 7・16

9月の予定

15〜17日 新任看護師長研修（本部）

25日 九州ブロック会議（熊本）

29日 施設運営委員会（本部）

済生会グループ保険のご案内

グループ保険

（本人・配偶者・子ども対象）



①終身医療保障プラン
②医療保障プラン
③総合医療あんしんプラン

（本人・配偶者・子ども対象）



ゆうゆう
ライフプラン

（本人のみ対象）



令和3年度 グループ保険の一斉募集の募集期間は

7月29日(水)～8月20日(木)です。

※ご契約の際には、「パンフレット」「重要事項説明書（契約概要・注意喚起情報・その他重要なお知らせ）」を必ずご覧ください。

【グループ保険・ゆうゆうライフプラン引受保険会社】
アクサ生命保険株式会社（事務幹事会社）
〒108-8020 東京都港区白金 1-17-3
TEL 03(6737)7777（代表）
日本生命保険相互会社 富国生命保険相互会社
第一生命保険株式会社 大樹生命保険株式会社
明治安田生命保険相互会社

【医療保険引受保険会社】
アクサ生命保険株式会社（終身医療保障プラン・医療保障プラン）
〒108-8020 東京都港区白金 1-17-3
TEL 03(6737)7777（代表）
日本生命保険相互会社（総合医療あんしんプラン）

2020年度 済生会ソーシャルインクルージョン計画補助

No.	支部	施設名	活動のテーマ	主な対象	活動の概要
1	北海道	北海道済生会支部	ウエルネスタウン推進事業	住民	近隣のウイングベイ小樽と連携し、誰もが幸せに、安心して暮らし続けることができるまちづくり「ウエルネスタウン計画」に着手。小樽市、北海道経済産業局北海道21世紀研究所、小樽商科大学、札幌学院大学等も加わり、日本版CCRC構想のモデルケースとなるような事業を目指す。
2	北海道	北海道済生会支部	地域課題の解決とCSV経営を目指したソーシャルファーム事業	障害者総合支援法における就労支援対象者	地域の就労支援の質の向上、児童精神外来に通院する患者の将来的な就労の支援を図るべく、①病院が外注している業務の内製化から始め、②新規事業として、みどりの里旧施設跡地を活用し農業や園芸の事業化を検討。また、③みどりの里内に就労相談窓口担当者を配置し、障害者相談支援事業所を新設する。
3	茨城	神栖済生会病院	カミス「ココ」でずっとKIDS	障害児・医療的ケア児及びその家族、関係職種	地域の障害児・医療的ケア児の在宅医療機関、関係機関、患者会等の連携強化を図るため、相談会、研修会、療育活動の場の提供、支援を行なう。
4	東京	東京都済生会中央病院	しばみつ元気プロジェクト	コロナ禍において、営業自粛に協力した事業者	港区のミツバチプロジェクトに協力し、芝地区産のハチミツを通じて、コロナ禍で低迷した地域のにぎわいを再生させる。福祉作業所と連携したハチミツ販売キットの作成、入院患者等との採蜜活動等を行なう。
5	山口	下関市豊浦地域ケアセンター 介護老人保健施設ひびき苑	認知症カフェ「Café ひびキラ	認知症の方、その家族、地域住民	認知症の方が楽しむ場、家族の方がわかりあえる人と出会う場を作り、地域住民の認知症への理解を深めていくべく、気軽に集える場を提供する。
6	佐賀	唐津病院	住民の健康づくり啓発活動	住民	イオン九州と協働し、継続的に住民の健康意識の向上を図るイベント開催等を行なう。

2019年度 済生会ソーシャルインクルージョン計画補助

No.	支部	施設名	活動のテーマ	主な対象	活動の概要
1	北海道	みどりの里	重症心身障害児（者）の交流支援	障害者	在宅及び入所している重症心身障害児（者）を対象として、外出機会の提供と、日常生活における交流機会を設ける。
2	山形	特別養護老人ホームながまち荘	外国人介護職員地域定着支援事業	外国人介護職員及びその支援者	外国人人材の就業・生活環境づくりのため、山形県内の外国人介護職員を受け入れている施設等と協働してガイドブックを作成する。
3	新潟	新潟県済生会	就労支援事業の立ち上げ	障害者	就労継続支援事業A型の新規開設。新潟病院の清掃、事務補助、看護部補助等を行なう。
4	新潟	新潟病院	こども食堂の立ち上げ	こども、地域住民	こども食堂に加え、高齢者（保健・予防）、障害者の参画、子どもの学習支援等を総合的に行なう。
5	新潟	長和園	地域包括ケア活動拠点の整備	高齢者、子ども	大人食堂、子育てカフェ、高齢者の通いの場（三条市の増設施策）により高齢者の孤立解消、子育て支援を行なう。
6	富山	高岡病院	健康寿命を延ばそう！オール高岡ヘルスアップ事業	地域住民	市、イオンモール高岡と3者協働して、健康意識の向上、健康増進、疾病及び介護予防を図り、健康寿命の延伸に繋げる。
7	長野	特別養護老人ホーム シルバーランドさしの	シルバーランドさしのの夏休み	小・中・高校生	1人で夏休みを過ごす子どもの居場所作りと、入居者との交流を図る（施設開放により学習の場の提供、職場紹介も兼ねる）
8	香川	香川県済生会病院	地域の接遇向上	開業医、福祉施設、医療関連企業	地域の医療・福祉及び周辺サービス提供者、地域住民に接遇研修の機会を設け、地域のサービスの質向上を図る。
9	愛媛	西条病院	健康維持増進、病気の早期発見	地域住民	健康教室、健康相談、AED講習会等をイオンモールや商工会議所等と協働して、拡大開催する。